

## 第1章 検証の概要

### 1.1 検証の目的

令和元年東日本台風（台風第19号）は、大きな被害を本市にもたらした。被害が拡大したのは、河川上流域で多量の降雨が継続的に降り続き、河川の増水により市内7箇所では堤防の決壊・欠損を引き起こしたことが大きい。

今後の災害に備えるためには、台風発生以降の対応を検証し、防災に向けた取組に反映することが必要である。そのため、台風上陸前の令和元年10月10日から同年12月31日までの期間を中心に、本市における水害対応を検証する。

検証によって得られた教訓は、地域防災計画の修正、ハザードマップの見直し、防災意識の啓発等の防災に関する施策に活用するとともに、忘れてはならない記憶を後世に継承するために令和元年東日本台風における水害対応の記録誌として活用する。

### 1.2 検証の手法

#### 1.2.1 対応した業務ごとの実施結果に基づく検証

検証に当たっては、災害時行動計画に基づき各課が所掌した業務を基本として、災害時の対応について調査した。検証項目を次項に示す4つの柱、38の項目に分類した上で、項目ごとに時系列で各対応状況を整理し、苦勞した点・課題点・改善すべき点などの検証を行い、改善策・対応方法を整理する。

#### 【検証項目】

柱	項目	
1. 被害の全体像	1	気象に関する情報
	2	河川被害及び浸水区域
	3	人的被害
	4	道路の被害
	5	家屋・動産の被害
	6	公共施設の被害
	7	農業の被害
	8	主要な民間施設の被害
	9	ライフラインの被害
	10	激甚災害の指定と適用される措置
2. 被災者、避難者の支援	1	避難所の開設及び運営
	2	災害時要援護者への避難支援
	3	罹災証明書、被災証明書の交付
	4	被災者の住宅支援

第1章 検証の概要

1. 2 検証の手法

1. 2. 1 対応した業務ごとの実施結果に基づく検証

柱	項目	
2. 被災者、避難者の支援	5	市民相談窓口の設置及び運営
	6	被災者の健康管理及び衛生確保
	7	児童、生徒等への支援
	8	避難者、被災者の意向及び状況把握
	9	被災者への情報提供
	10	被災者への生活再建支援組織
	11	被災者への資金の供与と税、保険料の減免等
	12	支援物資の受入れ及び提供
	13	民間団体、企業等による被災者支援
	14	ボランティアの活動状況
3. インフラの復旧、復興	1	所管施設の復旧対策等
	2	災害廃棄物
	3	農業用施設、農地、農作物の復旧対策
	4	商工業の復旧対策
	5	民間福祉施設への支援
4. その他	1	水防監視班による巡視
	2	災害対策本部会議の開催状況
	3	国、県、他市町村等外部機関との連絡状況
	4	報道機関への対応
	5	イベント及び事業の延期や中止等
	6	組織横断的な職員配置と従事状況
	7	被災者支援、復旧、復興に係る予算対応
	8	「災害時の事務分掌」の執行状況
	9	被災者の声

### 1.2.2 テーマ検証

4つの柱、38項目による課題等の整理状況、他団体の検証項目を参考に、特に課題解決が必要と想定される6つのテーマを重点課題とする。

ヒアリング及びアンケートによって、実施した業務の過程、業務間の連携状況等を把握し、多角的な視点で検証を実施の上、対策の方向性等を検討する。

#### 【検証項目】

項目	
1	災害対策本部等の設置及び運営
2	避難勧告等の発令に伴う判断
3	避難所等における避難者対応
4	被災者に対する情報発信
5	民間協定の運用
6	応援職員等の要請及び受入れ